

2 予算案のポイント

(1) 基本方針

- 「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向けて、しあわせ信州創造プラン2.0の実行計画である「第3期長野県食と農業農村振興計画」の目標達成に向けた取組を着実に推進します。
- アフターコロナを含めた「新型コロナウイルス感染症による影響への対応」、「災害からの復旧・復興、災害に強い県土づくり」に加え、「長野県DX戦略の具体化」、「2050ゼロカーボンの実現に向けた取組」などへの取組を重点的に進めます。

(2) 重点事項

新型コロナウイルス感染症による影響への対応

- オンライン商談会の支援や専用パッケージによる販売力強化に加え、海外需要に対応できる輸出向け産地の育成や規制等への取組を支援することにより、県産農産物輸出の商流の維持・拡大を図ります。
- コロナ禍で増加している求職者に対して、仕事としての農業の魅力をPRし、ハローワークと連携し農業法人等とのマッチングを行うほか、特定技能外国人のリレー雇用や農福連携のための研修等により、多様な人材により農業労働力の安定確保を図ります。
- コロナ禍の影響等により需要が減少した主食用米の適正生産を推進するため、麦・大豆・そば・高収益作物等への転換の取組等を支援します。

災害に強い県土づくり

- 令和元年東日本台風災害からの復旧・復興を着実に進めるとともに、大規模地震や豪雨などの異常気象による災害を未然に防止するため、防災重点農業用ため池の耐震化等の災害に強い県土づくりを推進します。
- 農業用水の安定供給を図る農業水利施設の長寿命化、農業生産性を向上させる農地の区画拡大や排水対策を進めます。

スマート農業の普及促進

- 各農業農村支援センターに「スマート農業相談窓口」及び「スマート農業推進担当」を設置し、スマート農業機械の普及を地域ごとに戦略的に進め、生産性の向上を図ります。
- スマート農業機械の「お試し導入」を引き続き実施するとともに、中山間地域に

おけるリモコン畦畔草刈り機の効果的な活用方法を検討します。

- 地域からの要望の高い「レタス自動収穫機」などの先端機器を、大学、民間企業等と連携して開発を進めます。

2050 ゼロカーボンの実現に向けた取組

- 農業関係試験場において、水田からの温室効果ガス発生抑制など、農業生産活動に伴う温室効果ガスの排出を削減する新技術の開発に取り組みます。
- 温室効果ガスの削減効果の高い有機農業を拡大するため、有機農業プラットフォームを中心に生産者と消費者などの連携強化を支援します。
- エシカル消費につながる県産農畜水産物の地消地産を推進するため、その魅力を消費者や飲食店、給食事業者等のターゲットごとに発信するとともに、直売所の連携強化等による地域内消費の取組を支援します。

農業競争力の強化

- 県果樹試験場が開発した、皮ごと食べられる赤色の種なしぶどう「クイーンルージュ®」の1年前倒しでの市場デビューや、すもも「麗玉®」の専用糖度計の導入など県オリジナル品種の市場評価の向上に生産者団体と連携して取り組みます。
- 豚熱により養豚研究を休止していた県畜産試験場において、研究を再開し、肉質向上・省力化技術の開発に取り組みます。
- 将来にわたり優良な主要農作物の種子を安定的に供給する体制を確立するため、種子生産施設等の整備を支援します。

豚熱ウイルスの感染拡大の防止

- 飼養豚等へのワクチン接種と免疫付与状況の調査及び野生イノシシの感染確認検査等を引き続き実施することにより、県内における豚熱の感染拡大の防止を図ります。